



先輩の声を聞いてみよう！

今回は6月11日(金)まで教育実習に来ておられる先輩方に進路選択や大学生活についてお聞きしました。参考にしてくださいね。



① なぜ大学進学をえらんだのですか？

多根：高校2年生のとき、当時の科長に教員も職業選択の1つだと教えてもらいました。その言葉をきっかけに教員になることを志しました。それまでは進学も考えていなかったのですが不安もありましたが、親と担任の先生と相談し、建築が学べて、教員免許も取得できる大学を探しました。選択肢の中からご縁があり、今の大学へ進学しました。

西田：高校3年生のとき、部活動の先生から大学でもレスリングをしてみないかと声をかけてもらったのが大学進学を考えたきっかけです。そのあと、親や先生方と相談をし、レスリングを続けることができ、高校で学んできた知識を深めることのできる、今の大学へ進学しました。

米田：単純にIT系の企業に高卒では就職できないから進学を選びました。専門学校では無く大学を選んだ理由は、AI分野の研究をしたいというのがありますが、今後転職をするかもしれないことを考えたら大卒資格の方が有利なのではないかと思って大学を選びました。

② 大学生活について教えてください。

多根：現在、実習は対面で行い、その他の座学の授業はオンラインという体制です。楽しいキャンパスライフを送れずさみしく感じる時もありますが、通学の負担がなくなるオンラインも慣れたら悪くないと感じています。また、私は一人暮らしをしているので、自分のことは自分ですべてするという大変さを日々痛感しています。

西田：大学は高校と違い自分の選択した授業に出るので自由に使える時間が多いです。授業はオンラインが多いですが、分かりやすく先生方が教えてくれます。私の大学は部活動やサークル活動が盛んで、友達と楽しく日々の生活が送れると思います。

米田：私の在学している小波瀬キャンパスは松江工業よりも田舎でとても静かなところにありま

す。学生達は講義を受けたり研究室で卒業研究を進めたりと各々やっていることはバラバラですが、学内はとても賑やかです。大学は「情報」と「仲間」がとても大切で、お互いに助けあって頑張ることで楽しく過ごすことができます。

今は福岡県に緊急事態宣言が発令されているのでほぼ全ての講義がオンライン講義になっており、一日中家にいるので「キャンパスライフ」もなく、友達にも会えないのであまり楽しくありませんが、日々頑張っております。

③ 進学をしてよかったと思うこと、大変だと感じることはどんなことですか？

多根：建築・インテリア・まちづくり・デザインに関して幅広く学ぶことができた点はよかったと思います。また大学へ行かないと出会いのなかった関西の友達ができただけでもうれしく思います。

大学は、授業の時間割を自分で作らなければなりません。また進路なども自分で頑張って道を切り開く必要があります。そのためすべてが自己責任になる点は大変だと感じます。

西田：私は大学に進学して、自分のやりたかったことを通して、成長できたので良かったです。大学でレスリングの活動と建築・土木の授業の中で大学でしか味わえない、多くの貴重な経験や体験ができました。

大変だったことは授業のレポートや製図の課題です。とても大変だったのですが、友達と一緒に夜遅くまで課題をしたことは一つの思い出になっています。

米田：良かったことは自分のしたい勉強や研究ができることです。

大変だと感じたことは普通科出身の人と比べて高校時代に学んだ数学の範囲が狭いため、公式や法則の計算ができなかったことが大変でした。工業高校出身の学生に対して普通科との差を埋めるための補習がありました。私はバイトをしたかったので家で自力で勉強しました。

専門科目については工業高校出身の方が有利ですが、怠けているとあっという間に分からなくなってしまい、単位を落とし過ぎて留年なんてこともあるので気をつけてください。

④ 将来の夢は何ですか？

多根：人から感謝される仕事をしたいと考えています。

西田：多くの人の役に立ち、影響を与えられる仕事をしたいと考えています。



西田さんの部活の様子

米田：AIを活用して新たなシステムや製品を生み出す企業に勤めたいと思っています。教員の道は就職後に万が一リストラや島根に帰ってこなければならなくなったときになろうと考えています。元々は教員免許を取得することも一切興味がなかったのですが、門脇先生に「お前は教員になって戻ってこい」と言われたのが理由です。

⑤ 後輩たちに一言お願いします！

多根：進学は経済的にも簡単なことではないですが、交友関係も仕事の幅も広がるように感じます。可能性の1つとしても考えてみるのも悪くないと思います。進路決定は難しいことですが、周りと一緒に相談しながら決めていきましょう。

西田：多くの生徒が進学や就職で悩んでいると思います。早いうちから自分のやりたいことややりたいことをしっかりと考え、相談して将来を決めていってください。

米田：高校生活の3年間はとてもあっという間に過ぎてしまうので、1日1日を大切に噛み締めて生活してください。大学生活も楽しいですが高校生の間ほど思い出を作れる時期はないと思うので無駄にしないように！

これから進学か就職を決める3年生の皆さんは焦らず心の底から行きたい！と思った企業や学校を選んでください。今後の人生を左右するとても大切な時期なので後悔しないよう頑張ってください。